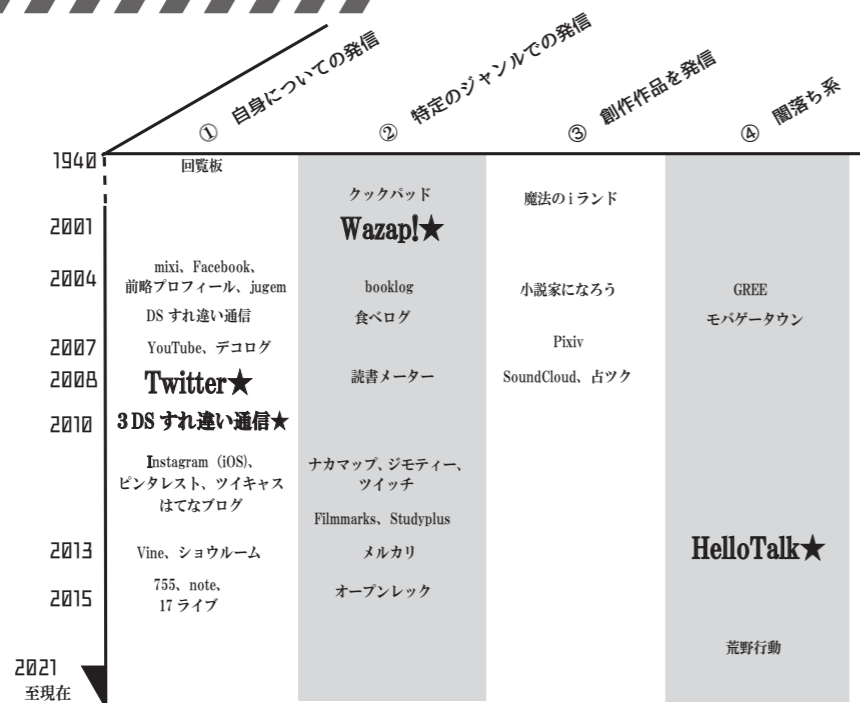


これまでの発信!



このごろ世界に流行るもの。つぶやき、いいね、ストーリー。個人が伝えたいことを瞬時に届けられる。あなたの「発信」はどこから?

極秘

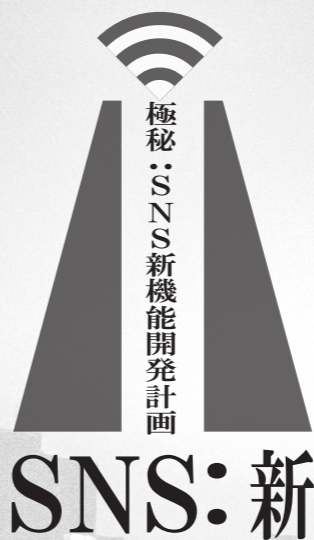
SNS 新機能開発計画

「大発信時代」

到来

「私たちは受け取る側。」

有名人が発信して、私たちはそれを受け取って楽しむ側」



そんな常識が、SNSの発展に伴い崩壊した。誰でも自ら発信できる「大発信時代」が到来したのだ。しかし、「大発信時代」を担う媒体はまだまだ発展途上。我々自身で、その可能性について一緒に考えていこう。



Twitter

僕は高1の時、リツイート懸賞応募のため<Twitter>を始めた。さまざまな懸賞に応募してきたが、当選したのはブラックサンダー1つだけだ。もはや、リツイートでかかる通信料金で損してるのではと思う今日この頃である。

いつの間に通信

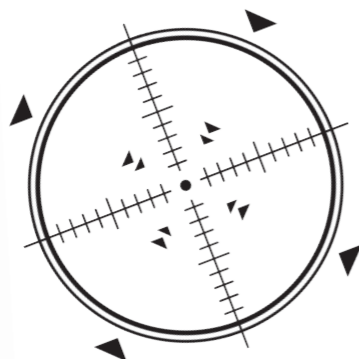
僕の3DSに、大量の日記が届いた。何事かと思って見てみると、すべての日記に「パルス」と一言だけ。そういえば、先週の金曜ロードショーはラピュタだった。リアルタイムの友人の叫びが、少し遅れて、僕に届いたのだ。

Wazap!

<Wazap >を存知だろうか? 誰でもゲームの攻略情報を書き込み、交流ができる掲示板である。バグや裏技なども豊富に投稿されていて、ゲームに風変わった楽しみを与えることは間違いない。しかし、ここにはデマも投稿されているのだ。その一例は『ポケモンマスターDP』の「アルセウス」のゲット方法。当時、正規プレイでは入手できないポケモンのゲット方法が<Wazap >上で公開されていた。それに乗じて「アルセウス」のデマが投稿されたのだ。これに騙されゲームが動かなくなってしまう人が続出。修正パッチのためトイザら스에駆け込む羽目に……。ネットこわ。

HelloTalk

<HelloTalk >は、さまざまな言語を交流しながら学ぶことができる、言語学習SNS。母語と学びたい言語を設定すると、条件に合う人とマッチングできる。当時高校生だった私は純粋に英語を学びたくて始めた……が、そこは出会いの巣窟だった。あくまで目的は言語学習なので、少しでも怪しいワードを送ってしまうと即座にバン。それでも会いたかった「wanna c u... 会いた」などスラングを駆使する。もしかしたら、より実用的な英語を学ぶことができるのかもしれない。ただし、テストでスラングは使わないこと。バンではなくバツされます。



検証② 自分らしく。 呼吸 Twitter

手軽さの中には「即時性」だけじゃなく「ありのまま、何も考えず自由に呟ける」という要素もある。しかし、制限時間10秒だとその人「らしさ」が失われてしまった。そこで、「5分間で思いつくままにひたすらツイートする」というルールに変更し、再度検証した。



投稿する際に利用するSNSの種類、理由、不満を問うアンケートをふまえて、最も利用者の多かった<Twitter>をベースに、「利用する理由」と「不満」の関係について検証した。

※<LINE>を用いて主に大学生に調査を行った。
(2021/4/30～5/7、回答数74件)

Chapter:2 検証!

検証① 時は金なり 10秒 Twitter

手軽な投稿と暇つぶしの閲覧、それが<Twitter>を使う理由。とはいえ、1つの投稿のニュアンスを熟考した経験も数知れず。どうせなら<note>に投稿すればよかった。

この矛盾を解消すべく、「1ツイートにかかる時間は最大10秒」というルールを策定。気楽に発信でき、かつ暇人同士でスムーズに交流できるか検証した。



〈Clubhouse〉が一花咲かせたことは記憶に新しい。しかし、それは散ってしまった。そんな〈Clubhouse〉のオマージュなんて誰も歯牙にもかけない。「スペース機能有能」なんてツイートしても誰も理解できないのだ。それでも、「スペース」機能はおもしろい。〈Twitter〉のシステムだから誰でも簡単に利用でき、人となりも把握しやすい。実際、私が聞いていた「スペース」では交流の一環として主催者がリスナーのツイートを見て、発言者を選んでいた。とはいえ、5月にリリースされた「スペース」機能の利用者は減ってきている。あるいは、古参のハツイキヤスには勝てないのか。結局「スペース」なんて誰も見向きもしないのかもしれない……。

ルポ②

ルポ①

検証を通して自分がツイートに慣れていないことを如実に感じた。日頃あまりツイートしないため、つぶやく内容が頭に浮かばなかった。また、普段の会話で使う言い回しが予測変換に出てこない上、フリック入力ミスもしたため大幅なタイムロスとなり、総ツイート数が少なくなってしまった。さらに、自分がツイートすることに集中しすぎると、他人のツイートを見ることができずコミュニケーションが成立しなかった。ただ、ツイート合戦はタイムアタック的なハラハラ感がありSNSの新しい楽しみ方であるとも思った。

ルポ②

「赤い本ほしい」。目の前に赤い表紙の本があったからなんとなくつぶやいてみた。ツイートした直後、ちょっと厨二病っぽいなと思った。結局最後まで、特にそこに触れられることはなく一安心。
一方、検証のため作られたTLの6人中4人が私は受験参考書の赤本を欲しがっていると考えた。この原因としてTLの構成員が全員大学生であったことが挙げられる。険しい受験の道を最近乗り越えた大学生にとって、「赤」「本」という単語を聞けば、あの過去問集が思い浮かぶのは当然のことである。受験の代名詞とも言えるその「赤い本」を、我々は形容詞語尾の「い」を抜かしてしまいうくらいには使いこんできたのだから。

雨が激しく降り続くなか、「これ帰れなくなったらどうしよう誰かとめて」とツイートしたところ、6人中2人が「誰か(雨を)止めて」と受け取った。僕としては、「誰か(家に)泊めて」の意味で呟いたつもりだったのだが、なぜこのような誤解が生じたのだろうか。
主に考えられる理由は2つだ。まず1つ目は、僕が漢字を使わなかったこと。同音異義語の場合、漢字は意味を判断する際の重要な材料になる。2つ目は、その直前のツイートが「雨やばいこわ」だったことだ。前後の言葉を繋ぎ合わせて意味をとろうという思考が無意識に働いたのだろう。

ルポ①

【特報：新機能を、君に】

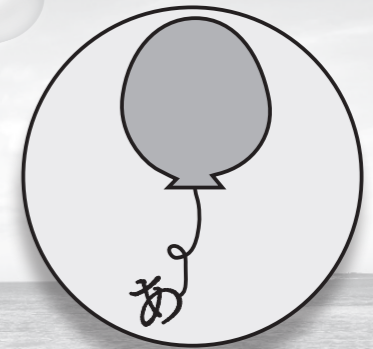
自己解放

SDGs

唯我独尊

気軽野次

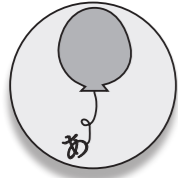
羽よりも軽い
手軽なSNS



あなたが普段使うSNSは満足できるものだろうか？ 最近ではさまざまなSNSが生まれ、既存のSNSもアップデートを重ねている。しかし、ユーザーの気軽な要望に答えてくれるようなSNSは多くない。そこで、本企画では協力いただいたアンケートや企画員による検証に基づき、「こんなSNSの機能があったらいいな」を考えてみた。現代においてSNSはとても強力なツールである一方、その危険性や過激さ、あるいは煩雑さから敬遠する人もいるだろう。そんなあなたにも気軽に使えるSNSの機能を考案してみたのでぜひご一読を。



自己解放



公開範囲設定

発信する側から投稿毎に見える範囲を選択できる機能。〈Instagram〉や例えば「親しい友達」機能、その進化版。この投稿は「リア友」だけに、あの投稿は「ネ友」だけに表示したい。そんなときは投稿前にワンプッシュ。見せるフォロワーを選択する。これがあれば身内ネタも許される。いくつもアカウトを分ける必要はない。



SDG

TLを見ながら投稿

検証以来、僕は本格的に〈Twitter〉を使い始めた。手軽につぶやけることの素晴らしさを感じると共に、不便さを感じる部分も出てきた。その1つが、ツイート時にTLが表示されないことだ。テレビの二画面機能のように、自分のツイート画面とTLが同時に見えるようにすれば、誰一人取り残さないコミュニケーションツールになるのではないかと思う。



コラム 其の巻

消えた機能

誰しも、増え続けるSNSの機能に困惑した経験があるだろう。一方で、人知れず消えていった機能もある。ここでは、その例を3つ紹介したい。

1つ目は、〈Twitter〉にあった、左スワイプでカメラを起動できる機能だ。テキスト中心の〈Twitter〉には馴染まなかったばかりか、「予期せぬ起動で盗撮を疑われた」等の批判が寄せられて、当該機能は削除された。2つ目は、同アプリにあった、他人のTLを閲覧できる機能だ。プライバシーそっちのけの機能で、実装ほどなく削除された。3つ目は、〈Instagram〉にあった、他人の「いいね！」した投稿を閲覧できる機能だ。これもまたプライバシーの観点から批判が相次ぎ、削除された。

以上のように、SNSの機能は利用者の批判に応じて、削除されることもある。もし、気に入らない機能があるのなら、声を上げてみてはどうだろうか。あなたの一声で、より快適なSNSが実現するかもしれない。

コラム 其二式

「Twitter Blue」ってなんなんぞ？

「平和に<Twitter>を使いたい」。人々のそんな夢を叶える新サービス「Twitter Blue」が今年6月に公式発表された。ツイートするボタンを押した後、設定時間以内（30秒または60秒）なら公開を取りやめられる「Undo Tweet」が実装された。他にも、ツイートを保存・分類できる「Bookmark Folder」、長いスレッドを1つのツイートとして読みやすくしてくれる「Reader Mode」などを搭載。本サービスはカナダ、オーストラリアで先行リリースとなる。料金は月々350円ほど。日本での導入は未定だが、燃え上がる<Twitter>を鎮火してくれるサービスとなるのだろうか。

Chapter:4

インタビュー

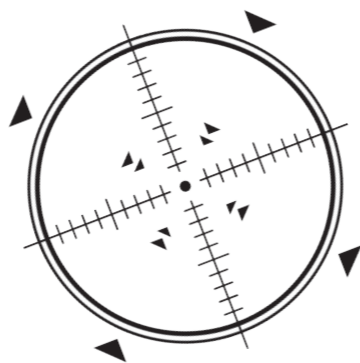
新しいSNS「Cupitter」を考案中の企画員の知人にお話を伺いました！

■ 個人から広く発信するのとはなく、1対1でマッチングする点に
おいと「その人らしさ」を出すためのバックアップの工夫はありますか？

仲介者を通してプロフィールを開示する部分です。異性に見せるプロフィールって自分をよく見せようとしませんか？たとえば「アイドルのライブ行く」「BLが好き」とかって、書きにくいですよね。また、プロフィールには自分で書く機能以外にも、過去のチャットが蓄積されていく機能も考えています。ここでも「らしさ」というのが出るかな、と思います。

本企画員一同、約半年間かけて、既存のSNSの新機能やアップデートに振り回されつつ、「大学生が発信する時に本当に使いたいSNSの機能」を考案してきた。「あったらいいな」を突き詰めた我々のアイデアを、この企画に出会ってくれた全ての人に届ける使命を果たしたのである。そして最後にもう1つだけ伝えたいことがある。

☆エンジニアに、届け！



(見方側)トレンドスワイプ機能

最近の「Twitter」のトレンドは正直見苦しいものが多い。見るに堪えない「Twitter」デモは画面から消してしまいたい。だから、トレンドのスワイプ削除機能を搭載したい。興味のないトレンドはシュッとスワイプでサヨウナラ。実に爽快。好きなものだけ、見て生きたい。

おすすめ	トレンド	ニュース	スポーツ	笑える
日本のトレンド				
5トレンド	ブロッコリーのゆで方	12,468件のツイート		
6トレンド	うちのおばあちゃん	10,333件のツイート		
7トレンド	グリゴキブリ	5,577件のツイート		
8トレンド	梅子さん	7,211件のツイート		

唯我独尊

TLに流さず、プロフィールページに格納

「見たくない人の投稿を見ない」「見せたい人だけに投稿を見せる」「自分の備忘録なので見せるつもりはない」……こんな要望がアンケートに多数寄せられた。まとめて解決できるのがこの機能！「投稿をTLに流すかどうか」を選択できる。流していない投稿について会話で触れると、わざわざ自分のプロフィールページに飛んでいることがわかるので、なんだか照れますね。



応援と野次は表裏一体の行為だ。ファンは好きだから応援する、期待しているから野次ってしまうのだ。しかし、従来の音声交流では一度に喋れるのは一人。野次を飛ばせば盛り上がるどころか、悪目立ちしてしまう。だからこそ、応援や野次は匿名性の保持により、その他大勢として参加できる必要がある。そこで、ホストの音量より観客の音量を絞る機能と、観客自身が音量のバランスを調整できる機能を考えた。この機能により匿名性を保持しながら、気軽に応援したり、野次を飛ばしたりできるのではないだろうか。

気軽野次
音声交流をもっと盛り上げる

